

空挺降下訓練始め研修 (援護懇話会の部隊研修を支援)

神奈川地方協力本部（本部長 高田 充一海佐）は、1月11日（日）、自衛隊神奈川援護懇話会実施の第1空挺降下訓練始め研修を支援した。

当日は、朝7時に横浜駅西口に集合し、寒い中ではあったが天候にも恵まれ、研修を非常に待ち望んでいた援護懇話会員等44名が参加した。

参加者の中には、自衛隊の訓練見学が初めての方も多く、「自衛隊の訓練を身近に研修できるので、凄く楽しみにしてきた」、「普段、見られない降下訓練やヘリコプタ等を記録と記憶に残したい」等と移動中から早くも期待と熱気に溢れていた。

現地へ到着すると演習場の広さに仰天したようであったが、バスから降りるなり颯爽と研修場所へ向かっていた。

先ずヘリコプタの登場で訓練が開始され、続いて、隊員の落下傘降下に至ると、あちこちでの歓声が大歓声の渦へ変わり熱気と興奮でヒートアップした様子であった。

訓練終了後、「落下傘の人達が整然と降下してきて感動した」、「たくさん自衛隊装備品を身近に拝見出来て凄くよかった」、「退職自衛官を益々採用したくなつた」と研修参加者も大変満足していた。

神奈川地本は、「今後も援護懇話会を支援し、自衛隊に対する理解を促進するとともに退職自衛官の雇用拡大に繋がるよう取組んでいく」としている。



陸・海・空3自衛隊において「総合的な学習の時間」 川崎市麻生区長沢中学校

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 上野 3陸尉）は、1月15日（木）及び16日（金）の2日間にわたり、武山駐屯地（基地）に所在する陸・海・空3自衛隊において、川崎市麻生区長沢中学校（生徒20名）の「総合的な学習の時間」を支援した。

15日は、東部方面混成団（陸自）において、居住区の見学や基本教練を体験し、第1高射群第2高射隊（航自）では、軽装甲機動車などの装備品を見学した。16日は、横須賀教育隊（海自）で結索体験などが行われ、陸・海・空の日頃の訓練などを体験した。参加した生徒からは、「自衛隊に対し一層深く興味を持った」などの声が聞かれた。

溝の口募集案内所は、「今後も、積極的に「総合的な学習の時間」を支援し、募集環境が厳しさを増す中、募集基盤の拡充に努めていく」としている。



横須賀教育隊での結索体験